

2年

学校近くの裏山を活用し自然とのふれあい

『うら山でそぼう！』の実践

天塩町立北産士小学校 村井 亨

◆単元のポイント

○身近な自然とのふれあい

この単元は、本校の大きな特長である大自然に囲まれていることを生かしています。学校の近くにある裏山を一年間通して、探検したり自然の中で遊んだりすることから、自然とふれあい、季節の変化等を感じ取ることができます。

○調べる・書く・発表する

裏山の探検や遊びなどの活動後、遊びの中から出た疑問や発見した植物や石などを調べる活動、それをカードやノートに書く活動、それをみんなに発表する活動と次の活動へつながるように考えます。



○国語、体育、図工との関連、天塩町の集合学習を生かした単元構成

この単元では、国語の作文や図工の自然物からの創作や体育での歩くスキーなどと関連させて単元を構成しています。また、天塩町の複式5校による集合学習という貴重な機会を発表の場として取り入れています。

◆単元の目標

- 学校の裏山を探検したり、自然を生かした遊びをしたりする活動から自然に親しみをもち、積極的にかかわろうとする。 (関心・意欲・態度)
- 裏山で発見したことや疑問に思ったことを調べて、まとめて、発表することができる。 (思考・表現)
- 裏山の自然とふれあうことで、地域の自然のすばらしさ、季節の変化に気付く。 (気付き)

◆単元の構想（20時間扱い）

5月 うら山を探検しよう (4)

- ・うら山を散策する
- ・発見したものを調べ、
発見カードに書く

発見したものを持って
きたりメモをとったり
する。（発見カード）

＜図工＞
石で動物を
つくろう
(4)

7月 うら山で遊ぼうⅠ<夏> (2)

- ・葉や木で遊ぶ
- ・変わった形の石を見つける

イタドリの
笛や笹舟な
どをつくる

9月 うら山で遊ぼうⅡ<秋> (4)

- ・花や葉を拾い、調べる
- ・まとめて発表する
- ・押し花をつくる

集合学習で
発表

10月 秋を探しに (4)

- ・秋のうら山を散策する
- ・木の実や落ち葉を拾う

＜図工＞
落ち葉や木の実で絵をつくろう (4)

2月 冬を楽しもう (6)

- ・うら山でそり滑りや基地づくりなどをする
- ・雪合戦や雪だるまなどをつくり遊ぶ

＜体育＞
歩くスキー（裏山へ）
(6)

※隨時「国語」で作文を書かせます。

◆実践するにあたって

この実践を成功させるには、 どんどん自然にふれていくことです。 子供と一緒に自然に飛び込むことです。 わからないことは地域の人間に聞いたり、 調べたりして教師も自然と親しく遊ぶことです。

後は安全面の確認です。何といっても熊が近くに出ることもある地域です。スズメバチの巣があったこともありました。自然を相手に行うのですから、当然安全面に配慮することはいつも気を配らなければならないでしょう。

なお、 この実践は複式の1・2年の授業です。